

往還ノート

2学期2号(252号) 2024年1月

 **放送大学** 広島学習センター
福山サテライトスペース

学問の愉しみ

● 広島学習センター客員教授 大野 英志 ●



テレビでは久しくクイズ番組が人気で、出演者も視聴者も正解を求めて一生懸命になります。また、「これが正解」という言葉もネット検索でかなりのヒット数を得ます。正解を得ることは精神的満足に繋がるかのように思えます。勉強においては、高校時代まで、ほぼ全ての科目において試験があり、生徒は正解を求めて努力します。さて、高校時代の現代文の時間に、先生からある質問をされました。私の返答は正解ではありませんでしたが、続けてその返答の根拠を尋ねられました。私はどうせ誤答だからと、まともな返答をしなかったと思いますが、根拠を尋ねられたことはなぜか今でも記憶にあります。

人文学分野では「正解」のないことがしばしばです。ましてや私の専門である中世英語英文学の作品は、私たちとは時間的に大きく隔たっていて、著者に真意を尋ねることはできません。それでも、時と共に移り変わる言葉の表現形式や意味を当時の人たちはどのように使い分けて意図を伝えようとしたのか、また、その使い分けから読み手にどの

ような解釈が許されたのかについて、自分なりの考察や根拠によって答えを見つけ出そうとする研究者は大勢います。「正解」のないことの面白さは、学生や研究者こそが味わうことのできる学問の醍醐味ではないでしょうか。

ただ、一人で考え込むばかりではなく、さまざまな人との交流によって、多角的視野を得ることも大切です。先日来世に旅立たれた私の恩師は、多くの学生や研究者と分け隔てなく付き合い、時にアルコールを飲みながら、常にこやかに冗談を交えてお話をされました。ご自身の研究対象である14世紀英国詩人ジェフリー・チョーサーの作品の 一 節 “gladly wolde he lerne and gladly teche”^{*}「喜んで学び、喜んで教える」を実践された方だと思います。私もこの一節を胸に、いろいろな方と学問の愉しみを分かち合いたいと思います。

^{*}Benson, L. D., ed. The Riverside Chaucer. 3rd ed. Oxford: OUP, 2008. p. 28.

目次

● 客員教員寄稿	1	● スケジュール (1月～4月)	7
● 所長室便り	2	● 卒業おめでとうございます	8
● 事務室からのお知らせ	3	● 学位記授与式客員教員祝辞	9
● 視聴学習・図書室からのお知らせ	5	● 卒業生・修了生代表挨拶	10
● 行事の報告・お知らせ	6	● 卒業生・修了生からのメッセージ	11



所長室便り

新年のご挨拶

広島学習センター所長 吉村 幸則



明けましておめでとうございます。

放送大学は、昨年、創立40周年を迎えて、記念式典・シンポジウムが一橋講堂（東京都千代田区）で開催されました。大学は次の時代を歩み始めまして、学生の皆様の「学び」を支える教育システムを充実させるように取り組んでいます。

広島学習センターでは授業だけでなく、講演会の開催にも力を入れています。文化祭の日に「今あらためて『平和』を考える」という公開シンポジウムを広島大学平和センターと共同で2年ほど開催しました。平和科学がご専門の先生方から、ロシア・ウクライナ問題やイスラエル・ハマス問題等を含めてご講演をいただき、広島が大切にしている国際社会の平和への理解を深める機会になりました。公開講演会と公開特別講座では地域の課題やSDGsに関わる食料、環境、防災、健康等を中心にした講演を行ってきました。本年も引き続き地域の皆さまと学生の皆さまに関心を持っていただける講演会と講座を開いていきたいと思っています。なお、公開特別講座は広島学習センターと福山サテライトスペースで開催していますが、本年はこれに加えて庄原教室でも行うように検討しています。講座を通じて、より多くの庄原の皆さまに放送

大学を知っていただけるように期待しています。

近年、社会サービスでのデジタル化は急速に進み、今後も進歩し続けるでしょう。2023年7月号の「往還ノート」で客員教授の中田先生は、AIを利用するにあたっては、情報リテラシーの向上が不可欠で、AIの返答内容が正しいかの判断と適切な使い方が必要と述べられています。情報リテラシーの必要性はAIとともに、社会のデジタル化システム全体にも言えることのように思います。進歩し続けるデジタル化に適切に対応しましょう。放送大学では本年4月から学内ではご自分のパソコンを持参するBYODが始まります。学習センター等にはWi-Fiも整備されていますので、必要な学生の皆さまは、「無線LAN利用申請書」をご提出ください。

「往還ノート」は冊子体で発行してきましたが、別途の案内のように、「広島SC・福山SS利用の手引き」や「公開特別講座・学習相談日程表」などとともにWeb版での発行を基本にして郵送を廃止します。これによりページ数も多く使える予定です。引き続き楽しみながらお読みください。

本年もどうぞ健康を保ちながら良い1年をお過ごしください。

● 次学期の履修手続きについて

☑ 学生生活の葉(教養学部P55～、P91～93/大学院P56～、P90～) 参照

1 次学期も学籍のある方

次学期に履修する科目の科目登録申請を期間内に行ってください。

	申請期間	申請方法
インターネット	2月13日(火)09:00～ 2月29日(木)24:00	システムWAKABAの「教務情報→科目登録申請」から手続きを行ってください。
郵 送	2月13日(火)～ 2月28日(水)私書箱必着	1月中旬に送付されます科目登録申請票に次学期に履修したい科目を記入の上、大学本部へ郵送してください。

2 今学期で学籍の切れる方

引き続き放送大学で学習されたい方は、継続入学手続きを期間内に行ってください。

	出願期限	出願方法
インターネット	【第1回募集】 2月29日(木)24:00 【第2回募集】 3月12日(火)17:00	システムWAKABAの「教務情報→継続入学申請」、もしくは放送大学ホームページのインターネット出願から手続きをしてください。 教養学部への継続入学生で面接授業も登録したい方は科目登録申請期間中(2月13日(火)～2月29日(木))にシステムWAKABA(「教務情報→継続入学申請」)から出願を行う必要があります。
郵 送	【第1回募集】 2月29日(木)本部必着 【第2回募集】 3月12日(火)本部必着	1月中旬に送付されます継続入学関係書類を確認し、出願票に必要事項を記入の上、大学本部へ郵送してください。 (卒業見込みの方は大学本部より送付されます案内状を確認し、書類を取り寄せてください。) ※集団入学、共済組合を利用しての入学、自主退学者には送付されません。

3 今学期末に卒業見込みの方期末に卒業見込みの方

成績判定後に次学期に向けて手続きを行ってください。

必要な手続き	手続きに該当する方
科目登録申請(①参照)	今学期末で卒業できなかった方で、次学期も学籍がある場合。
継続入学(②参照)	今学期末で卒業できなかった方で、次学期に学籍がない場合。
	今学期末で卒業される方で、引き続き放送大学で学習を続けたい場合。

4 しばらく科目登録していない方

全科履修生は連続して4学期(2年)間、科目登録申請及び授業料納入を行わないと除籍になります。連続して3学期科目登録手続き、授業料納入を行っていない方は、この機会に科目登録申請を行い、学習を再開しましょう。

面接授業を登録申請の留意点

2024年度第1学期の面接授業について、感染症や災害の発生時の非常時における対応として、定員削減や閉講(中止)、Web(Zoom等)授業への変更や受講制限等の措置をとる可能性があります。それらの情報は、全国の学習センター等からのお知らせや本学ウェブサイト、システムWAKABAにてお知らせいたしますので、定期的にご確認ください。以上をご理解いただき、特に卒業見込みの方、資格取得を主眼とした単位修得を目的とする方におかれましては、放送授業やオンライン授業を積極的に受講してください。

●2024年4月インターネットパソコン廃止について

パソコンとプリンターの廃止については、急速に進んでいる教育のデジタル化に放送大学も対応し、学生の皆様が自由な環境で学習できるようにするための取り組みです。

そのため、2024年度第1学期以降、パソコンを使う面接授業は、受講者ご自身にパソコン等を持参して受講していただく方式【BYOD：Bring Your Own Device】としました。

これにより、ご自身のパソコン等で、授業の受講、予習や復習を行うことができますようになります。

詳しくはこちらから《<https://www.ouj.ac.jp/news/2023/information/10-17.html>》 →



撤退予定のパソコンについて

インターネットに繋がるパソコンが使用不可になり、撤去されます。

- ① 4階「PC実習室」パソコン
- ② 3階「図書室」にある窓際の2台のパソコン
- ③ 各プリンター

※従来の図書室のパソコン (Chormbook) は、2024年度以降もご利用いただけます。

●2024年4月からの印刷物廃止について

広島学習センターは2024年4月より以下の資料の送付を廃止します。

- 往還ノート (年4回発行)
- 利用の手引き
- 公開特別講座・学習相談日程表
- 卒業研究事前支援受講者募集について

今後は広島学習センターのウェブサイトよりご覧いただきますよう、お願いいたします。

希望がありましたら、窓口での対応 (印刷) をしますのでお声かけください。

●無線LAN利用申請書について

広島学習センター館内で使用する無料WiFi【wifi-houdai】の利用が可能です。

申請用紙は窓口での対応でしたが、広島学習センターウェブサイトよりダウンロードができるようになりました。以下の手順で進めることにより窓口にお越しの際、「無線LAN許可書」をお渡しできます。

※引き続き窓口での対応も可能です!!

- ① 放送大学広島学習センターのウェブサイトより「無線LAN利用申請書」をダウンロードしてください。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hiroshima/news/2023/10/01094633.html> →



- ② システムWAKABAにログインします。
- ③ 情報セキュリティ研修を受講します。
学内リンク → 「放送大学自己学習サイト」 → 「情報セキュリティ研修 (学生用)」
- ④ 情報セキュリティ研修の確認テストを行ってください。
「修了証」が発行されます
- ⑤ 「無線LAN申請書」と「修了証」を広島SCへメールしてください。
アドレス: hiroshima-sc@ouj.ac.jp
- ⑥ 後日、「無線LAN申請書」と「修了証」の原本を広島学習センターへ提出いただければ、
引き換えに「無線LAN許可書」をお渡しします。

面接授業で使用希望の場合は該当機器での事前接続テストを推奨します。

広島学習センターにお越しいただくことが困難な場合は、電話でご相談ください。

● 広島学習センター配架雑誌バックナンバー配布について

2022年度(2022年10月～2023年3月)に広島学習センター視聴学習・図書室に配架していた雑誌のバックナンバーを、下記期間中に無料配布いたします。引き取りを希望の方は、先着順でご自由にお持ち帰りください。なお、雑誌の予約申込や配送(着払いも含む)は受け付けておりません。

◆配布期間：2024年2月13日(火)～無くなり次第終了

◆場所：広島学習センター視聴学習・図書室(3階)

◇配布雑誌◇

英語教育／栄養と料理／こころの科学／ニュートン／月間福祉／文藝春秋／法学セミナー／臨床心理学／
National Geographic／情報処理

◇その他◇

広島学習センター前所長 書籍

● 視聴学習・図書室の学期末臨時閉室について

次学期準備のため、下記の期間、広島学習センターの視聴学習・図書室を閉室します。

臨時閉室期間：**2024年3月26日(火)～2024年3月31日(日)**

※閉室期間中の本部図書の貸出は事務室にて行います。

サークル・同好会の紹介

I(アイ)クラブ

アイクラブは「インターナショナル クラブ」の略称です。

ですので、「インターナショナルな活動」をクラブ員が考え提案出来るクラブとなっております。現在は、英会話とコーラスが定期的に活動しております。英会話は放送大学キャンパス内で活動、コーラスはネット環境下で活動中です。

実は、来年度創部20周年を迎えます。それに向けての企画を考え中です。

やってみたい事がお持ちの方、大歓迎です。是非一度ご連絡をください!お待ちしております。



あゆみの会

(1)参加者の主体性を重んじて、論説を発表する。

放送大学で個人の論説を発表する機会は、卒業研究以外に皆無である。

そこであゆみの会は、各自の自由選択、発表の主題を時間制限で発表する。

※学習の一端です。

(2)内容について

①ロシア原文を翻訳し、本を出版する。その解説とエピソード

②テーマ "広島と平和" 論説

③新聞記事からのオピニオン

④オカリナ演奏と芸術論

多彩な発想と自由な知見の発表です。

発表することは座学以上に難しい。しかしその効果は値する。

あゆみの会は、学生交流の時間空間です。



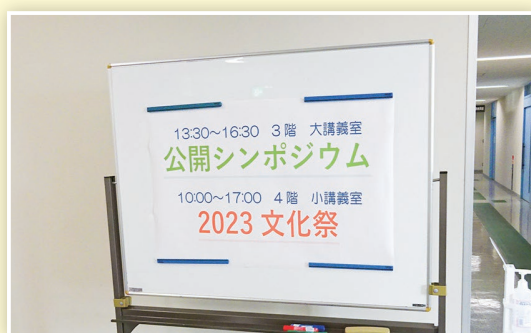
公開シンポジウム

10月28日(土) 広島学習センターにて、「今あらためて『平和』を考える」をテーマに、大芝亮先生(広島市立大学広島平和研究所所長)、友次晋介先生(広島大学平和センター准教授)に講演していただきました。



文化祭・作品展示会

学生の皆様による作品展示です。
サークルや同窓会などの学生団体による展示や写真や画を
パネルにまとめていただき展示しました。



俳句クラブ



螢窓短歌会



I(アイ)クラブ



さえずり句会



アートと福祉

放送大学広島同窓会主催・広島学習センター共催

吉村所長を囲んでの座談会

学習センター所長を交えて、学生・卒業生同士で「お話」しましょう。学習の悩みや疑問、他の学生はどんなふう学習しているの？卒研・修論ってどんな風に進めるの？等々、交流の輪を広げ、放大ライフをもっと楽しみましょう。

- 日 時：2024年2月4日(日) 14:00～16:00
- 場 所：広島学習センター会議室(4階)
- 対 象：在学生・同窓会会員・卒業生

申込先

広島学習センター事務局 (☎082-247-4030) へ電話
又は0321366664@campus.ouj.ac.jp (同窓会) へメール

申込締切 2024年2月1日(木)

2023年度履修者 卒業研究成果発表会

2023年度に卒業研究を履修した学生が、研究の成果を発表します。卒業研究の履修を考えている方や卒業研究に興味のある方は是非参加してください。

- 日 時：2024年2月18日(日) 14:00～15:30
- 場 所：広島学習センター大講義室(3階)

申込先

広島学習センター事務局

スケジュール (1月～4月)

2024 1 JUL						
月	火	水	木	金	土	日
祝 1	2	3	4	5	6	7
祝 8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
16日(火)～24日(水) 単位認定試験 (web受験科目の試験期間)						

2024 2 AUG						
月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	祝 11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	祝 23	24	25
26	27	28	29			
4日(日) 吉村所長を囲んでの座談会 18日(日) 卒業研究成果発表会 13日(火)～28日(水) 科目登録申請期間(郵送) 13日(火)～29日(木) 科目登録申請期間(Web)						

2024 3 SEP						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	祝 20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
12日(火) 2024年度第1学期学生募集出願締切 24日(日) 学位記授与式・入学者の集い(広島・福山) 26日(火)～31日(日) 視聴学習・図書室閉室期間						

2024 4 OCT						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
祝 29	30					
13日(土) 面接授業空席発表 18日(木)～面接授業追加登録開始						

閉所日(月曜日、祝日、所長が必要と認めた日) ※臨時閉所日

卒業・修了おめでとうございます。

2023年9月24日(日)に、2023年度第1学期学位記授与式を行いました。

お祝いの言葉

広島学習センター所長
吉村 幸則



皆さまご卒業おめでとうございます。今学期、広島学習センターと福山サテライトスペースを合わせて、学部を51名の方、修士を1名の方がご卒業・修了されます。皆さまは、ご自分の学びたいことを、いろいろな方法で学ばれて、ご卒業になられます。達成感に溢れておいでのことと思います。

この3年半の間は新型コロナウイルス感染症対応で不自由なことも多かったと思いますが、最近になって状況が改善されて、面接授業には多くの方が出席され、熱心に受講されていました。講演会でも活発な意見交換をされていました。私も今学期に畜産学の授業を担当させていただいたのですが、皆様が熱心で、ある方は授業を終えたにもかかわらず、3冊の本を買って読んだと言われて、熱心さに大変うれしく思いました。

放送大学がデジタル化を推進している中で始まった、webでの単位認定試験にも協力していただき感謝いたします。現代社会ではデジタル化を含めて、物事がとても速く変化しています。皆さまは放送大学で教養と専門を幅広く学ばれました。これを礎に、これからも「学び」を続けて、社会の変化に対応されますように、そして、ものごとを柔軟に楽しく考えられるように願っています。

皆さまは、卒業されますが、これからも放送大学で知り合った方とのつながりを大事にされると、きっと豊かな気持ちになると思います。広島学習センター同窓会も素敵な人のつながりを持つように応援してくださいと思います。

皆様には、どうぞこれからも元気で活躍ください。

2023年度第1学期 卒業生数

学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース
生活と福祉コース	13名	2名
心理と教育コース	12名	4名
社会と産業コース	2名	1名
人間と文化コース	7名	2名
情報コース	2名	1名
自然と環境コース	5名	—
合計	41名	10名

2023年度第1学期 修了生数

学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース
生活健康科学プログラム	1名	—
人間発達科学プログラム	—	—
臨床心理学プログラム	—	—
人文学プログラム	—	—
情報学プログラム	—	—
自然環境科学プログラム	—	—
合計	1名	0名

教職員一同、皆様のご健勝とご多幸、益々のご活躍を祈念しております。

学位記授与式挨拶

「学ぶ」ということ

広島学習センター客員教授 勝部 真人



「求める学び」へ

本日はご修了・ご卒業おめでとうございます。

本日広島学習センターでご修了の方が1人、ご卒業の方は41人いらっしゃいます。

それぞれの場面で、いろいろご苦労があったことと存じます。特に研究というフェーズ・局面の最前線においては、まだ誰も見たことのない景色への挑戦ですから、そこを垣間見るだけでも、五里霧中の日々であったと思います。

この放送大学での学びは、多分、それまでの高校までの学びと大きく違うことを実感されたことではないでしょうか…。それを一言で言えば「与えられる学び」から自ら「求める学び」への転換ということだと思うのです。

はじめは、何が何か頭の整理さえつかない。答えすら、1つではないかもしれない（おそらく1つではない?!）。それでも学びを積み重ねていくと、次第に視界が開けてきて、「あ～でもない、こ～でもない」と自分の頭のなかで組み立てていく。そうすると、少しずつ自分なりのイメージがはっきりしてくる。これこそ自ら「求める学び」でありまして、苦しくもあり楽しくもある作業だと思います。おそらくそれは、「学び」というものへの原点回帰ということではないでしょうか…。

「学びを推進させる」もの

勉強するとか学ぶというと、ふつうは「大義い?!」「できるならもっと楽なこと・楽しいことやりたい!!」となるでしょう。しかし、この放送大学で時間を過ごされた方々であれば、「苦しかったけど、楽しかった」という気持ちを持たれているのではないのでしょうか。たぶん苦しんだからこそ、そこから見える景色を楽しめるのではないかと思います。まさに、苦しい山登りの果てに、絶景が迎えてくれるような…。

つまり、本来「学び」は楽しいもののはずなのです。おもしろいから学ぶ、それが学びの原動力なのだと思います。途中の苦しさも、おもしろいから乗り越えられる。楽しんで得られるおもしろさ・楽しさでは、たぶんこのおもしろさ・楽しさを得られないのではないかと思います。

「これからも続く学び」

結局何が言いたいのかと申しますと、放送大学での学びはここで終わるけれど、学び自体はこれからも続くということです。

ご自身のテーマや興味・関心は別のものに移っていくかもしれませんが、まだ知らないこと・学ぶべきことはたくさんあります。「おもしろい」を追求していくことで、学びを続けていくことができるし、続けていかねばならないと思っています。人は、生ある限り学び続ける…。生きるということは学ぶこと、学ぶということは生きていくことだと思います。

「学ぶことによって自分を深め、他者への思いやりを深めていく」、本来学びとはそういうものであると信じております（勉強してえらくなってふんぞり返っている…というのは、本来の学びができていないことだと思います?!）。

学ぶことによって自らをもっと錬成し、より深い世界に分け入り、そして周囲の人とおもしろさを分かち合う。それは、何より私自身に対する戒めであります。私自身まだまだ知らないことがたくさんあります。成長スピードは非常に遅くなってきてはいるけれども、もう少し成長できるのではないかと、それによって人間的にももう少しだけ成長できるのではと自分に期待しております。皆様のこれからの「学び」にも、大いに楽しみにしております。

本日は、まことにおめでとうございます。

卒業生・修了生代表挨拶

広島学習センター卒業生代表 岡部 雅子 [生活と福祉コース]

本日は、私たち卒業生のために学位記授与式を行っていただき誠にありがとうございます。

こうして直接卒業証書をいただけることを嬉しく感じています。

本日、卒業生代表挨拶の声掛けをいただき、光栄ではありましたが、初めは少し戸惑いがあり家族に相談したところ、「良い経験になるから」と勧められ、代表の挨拶を受けることといたしました。

私が、放送大学に入学したきっかけは、娘たちが大学へ進学したことです。娘たちが大学に通っている姿を見て、自分も最終学歴を大学卒業にしたいと考えました。そこで、働きながらも通える大学を探したところ、放送大学があることを知りました。

放送大学は、一人ひとりが異なる目的を持って学習でき、また、自分のペースで授業の単位を取得することができるため、ここで学ぶことと、決めました。

「生活と福祉コース」を選択したきっかけは、介護福祉士を学んでいて、自分も入り込みやすいのではと感じたためです。

このコースを選択し、実際に学習を始めると、今まで学んだ福祉の知識や日常生活の雑学が生かせることもありましたが、なかなか単位が思うようにとれない教科や、両親の介護、自分の体調不良などで、一時休学したりと、

山あり谷ありで卒業するために必須な124単位を取得するまでに長い時間がかかりました。

外国語では、面接授業で韓国語を履修し、1単位は取りましたが、特に語学を勉強していなかったため、大変苦労しました。

そのほかの苦手な科目も苦戦しましたが、根気よく試験にチャレンジしたり、家族の励ましや、学習の時間を見つけ、苦手な科目も無事に単位を取得することができました。

単位取得まで、長い時間はかかりましたが、高い学習意欲を保てたのは、広島学習センターでの面接授業で、皆さんの知識や、スキルを積極的に身につけようとする前向きな姿勢、講師の方々の楽しくも興味深い授業があったからです。

旅行もかねて、各地の面接授業を受けたいと楽しみにしていましたが、実際には広島学習センターのみの受講となり、今でも少し心のこりです。

最後になりましたが、支えてくださった広島学習センターの教職員の皆様に心から感謝申し上げます。

そして、自宅で学べる環境と豊富な教材を与えてくださった放送大学の、ますますの発展をお祈りしています。

卒業生を代表し、ここでもう一度心から感謝の言葉を申し上げ、卒業生代表の挨拶とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。

福山サテライトスペース卒業生代表 杠 陽子 [心理と教育コース]

本日は私たち卒業生・修了生のためにこのような素晴らしい学位記授与式の間を設けていただきまして誠にありがとうございます。

何もわからない状態から卒業までを支えてくださったスタッフの方々のお陰で本日を迎えることができましたこと感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

私は2016年に血液のがんであることがわかり2年近く治療し完治はないが何とか生き長らえる希望が見えたとき、これから何のために生きるのか、今までにやり残したことはないか考えました。その時1番に思ったことが大学に行きたかったことでした。

色々な事情でなれなかった大学生になってみたいとずっと心の底にあったものが沸き上がってきたものの今さら無理かなとあきらめていました。

その弱気な背中を押してくれたのが家族であり、友だちであり、放送大学の仕組みであり先輩たちのがんばりでした。生きていることを無駄にしたくないと思う気持ちを強く感じさせてくれた病気にも感謝しています。種類や内容にもよりますが病気もいいものですよ。

最初は勉強の仕方もわからず戸惑いました。記憶力も低下して同じページを何度読み直しても、放送授業を何度見ても理解できず、睡魔に負けることしばしば。でも

慣れてくるとできるようになるものです。先生方がわかるように説明してくださっています。何が何でも卒業するんだという強い気持ちと目標を持っていれば為せば成る。再入院中もテキストやWi-Fiを持ち込み勉強したこともあります。そのおかげで退屈することなく励みになりました。

面接授業の時もスタッフの方々によく声かけしていただいて楽しみでした。よくお会いする学生の方たちとも友だちになれて4年間があつという間に過ぎました。

私のように年をとってから学ぶ人もいますが若い方たちが大卒を目標にしたりスキルアップを目指してがんばっておられることに感動しています。学べる喜びと知らないことを知る機会を与えていただけたことに感謝し「大学生」の自分を誇りに思う事が続けていく秘訣だと思います。学歴は誰にも奪われることのない財産です。放送大学で学べたことは本当に幸せな時間でした。4年間やり遂げることができて満足していますが、またこれからは生きる目標の一つとして生涯学習を続けていきます。

これから学ぼうとされている方とまた新たな出会いがあればうれしいです。

今後ともよろしくお願いいたします。

本日は本当にありがとうございました。

卒業生・修了生からのメッセージ

2023年度第1学期卒業生・修了生の皆様より、
卒業にあたっての思いや、これから学ぼうとする
学生の皆様へ向けてのメッセージをいただきました。

生活と福祉コース卒業

佐藤 圭子

2020年4月 放送大学に編入しました。授業についていけるか不安でしたが、1年ほどすると自分のペースで学習できるようになりました。

通学が難しくオンライン授業を利用することが多かったですが、先生からのアドバイスや他の学生さんとのディスカッションは参考になりました。レポートは様々な考え方を与えてくれる機会となり、大変でしたがやりがいにつながりました。

3年半は過ぎてしまえばあっという間でした。お世話になりました。

小谷 勝行

私は高卒78歳です。介護福祉士資格受験のために、NHK学園高等学校生としての学びから放送大学生の道が与えられたことは、60年間ぶりの学問への高ぶりでした。70歳を超えてからの学習課題は福祉を学びたく（地域、老人、子供、心理、ひきこもり、健康長寿）の分野をテーマとして、学習をしてきました。卒業にあたりお世話になった方々に感謝します。今後は、楽しく生きるとは、より良く生き、死ぬるとはを学びたいです。ありがとうございました。

中元 博和

1995年10月に知人のすすめで放送大学選科履修生に入学しました。興味ある科目のみ学習で、あちこちのコースに寄り道して、卒業まで長い年月かかりました。その後、広島学習センター職員のすすめで、全

科履修生に編入し卒業したいと思い今年卒業です。思い出の一つは、面接授業で学習センターの庭でカメラ撮影と画像加工の実習です。これまで支えていただいた多くの方々に、心からお礼申し上げます。放送大学の学びで豊かな人生になるよう思っています。

心理と教育コース卒業

大江 満

2年次編入でお世話になり3年半の歳月の中で、仕事との両立、学習に対するモチベーションの維持など現役時代とは明らかに違う学生生活でした。それは与えられる学習とは異なり、自身が模索し常にテーマを持って掘みに行く、言わば攻める学習でした。そのステージの広さが放送大学にはあり、分野ごとに体系的に学べる点も特徴の一つと言えます。心理学を中心に学んだ3年間でしたが、基礎から応用へと科目登録の構図も興味をそそる内容で特に心理学実験では、面接授業の中で多くを学ばせて頂きました。今から、ここからさらに学びを続ける事を誓い、教授の先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました！

貞利 仁美

長年、保育に携わる仕事をする中で、環境や子どもの発達による現代の子育ての難しさを感じるようになり、自分にできることとして心理学を学ぶ決意をし、大学に入学しました。資格取得を目標としてきましたが、学ぶことが楽しく、卒業を喜ぶと同時に寂しさを感じられるようになりました。仕事と勉強の両立は大

変ではありますが、2学期からは新たな目標を持ち、科目履修生として頑張っていきたいと思っております。

藤原 克巳

心理と教育のコースを卒業できてほっとしています。というのも私にとって面接授業の「心理学実験」はとても難しいのと宿題が多く資料作成が大変でした。でも、心の動きを科学する学問はとても新鮮味を感じたコースでした。この卒業を契機に何年掛かるかわかりませんが、認定心理士と公認心理師に挑戦する予定です。

また大学の俳句クラブに入って5年ほど経ちますがもっと勉強して俳句力の向上を目指すつもりです。今後ともよろしくお願いします。

杠 陽子

この度放送大学の心理と教育コースを「卒業」という人生で何度目かの達成感と喜びに浸っています。6年程前にがんが見つかり残りの人生を考えたときやりたかったこと、やれずに後悔していることが大学に行きたかったことでした。勉強したいとか大それたことで

はなく単に大学生になりたいという憧れでした。がんということもあり家族も賛成してくれ応援してくれて今日のこの日を迎えることができました。本当に感慨無量です。この喜びは出産、子どもの受験合格、卒業、結婚に次ぐ幸福感です。大学で友だちもできました。完治はないといわれながら生き長らえてる命を自分のために使えることや新しいことを知る機会を教えてください。放送大学にそして病気に感謝です。まだまだあがきます。学びます。生涯学習の意義と楽しさです。

自然と環境コース卒業

伊藤 操

学び直し（リスキリング）の必要性を感じて30年。学ぶ喜びをモチベーションにしてグランドスラムを達成。一時期挫折しかかった時学友の学ぶ姿を想起しステップアップすることができました。リスキリングの理解が深まることを願っています。

「着々寸進洋々万里」知ることの喜びを糧にして生涯勉強。学友の皆さんのご健勝をお祈り致します。



広島学習センター



福山サテライトスペース

 放送大学

広島学習センター

〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89
(広島大学東千田キャンパス)
TEL 082-247-4030
FAX 082-247-4461

福山サテライトスペース

〒720-0812 福山市霞町1-10-1
(まなびの館ローズコム3F)
TEL 084-991-2011
FAX 084-991-2012

メールアドレス hiroshima-sc@ouj.ac.jp

ウェブサイト

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hiroshima/>